

祝

西東京市在住、太田勝己様・照子様ご夫妻の支援で、  
ラオス中北部東カンペン小学校が完成間近



2023. 9. 30の太田様ご夫妻

専務理事の石塚勝己さんより、ステキな朗報が届いたのは、昨年8月末でした。彼のキックマン時代の友人から、学校建設の要望があるとの連絡でした。しばらく遠ざかっていたラオスを検討しました。2年ほど前に、一度、見積もりを作った経緯のある中北部東のシエンクアン県、ユアン村、カンペン小学校を候補地としました。

この村は、日本からの支援で建てられた1・2年生の比較的新しい校舎があり、モン族の子どもたち50名ほどが学んでいます。しかし、3年生から5年生（ラオス・ベトナムは、小学校は5学年まで）は、校舎がないため、数キロメートル離れた隣の小学校に通っており、1・2年生であっても、送り迎えの親の都合で、一緒にその遠くの学校に通っている子供もいるのです。その隣村の小学校が、仕事場への通勤の途中にある親ばかりではないため、子どもたちの学校への通学と送迎は、子どもたちと親の大きな負担となっているのです。

この村は、最近の開発が進み入村者も増え、村の人口もますます増えてきています。もし、3から5年生までが、自宅から学校に通えるなら、親の負担ばかりで無く、子供たちも兄弟揃って、歩いて自宅から通学しやすくなり、学習環境も改善するのです。幼稚園も近隣にはないため、幼稚園として利用できる教室もあれば、さらに、学習環境は、良くなります。そこで、3～5年生と幼稚園児のための4教室とその半分の広さの教員室の計4.5教室の設計としました。

西東京市にお住まいの太田勝己・照子様ご夫妻のご自宅に関係書類を持参して、快諾をいただき契約をいただいたのは、9月30日でした。建設会社も決まり、起工式・着工式は、12月19日でした。コロナ禍前のラオス訪問は、主に、南部のサラワン県やチャンパサック県が中心でしたが、今回は、ベトナム・ハノイのノイバイ空港からラオスのビエンチャン空港へ、そして、ラオス航空のプロペラ機で、シエンクアン空港へ。



着工式での1・2年生の喜びの笑顔

中北部東シエンクアン県の県庁所在地は、ベトナム戦争前までは、ムアン・クオンという町でした。しかし、ベトナム戦争で最も激しく爆弾が投下され、町全体が破壊されました。町そのものが、無くなるだけでなく、クラスター爆弾の不発弾がありとあらゆる場所に残り、同じ場所に町を再建することすらできなくなり、現在は30kmほど北西のポンサワンという町が、行政の中心地となっております。

そのポンサワンから北へ舗装道路を15分。さらに、土埃の舞う道を5分で、ペック郡、ユアン村、カンペン小学校に到着です。道路から80m四方もある広い校地へ入ると右奥に小さな1・2年生だけの2教室の校舎があります。トイレも男女1個の便器のトイレだけです。新しい校舎だけでなく、トイレも新築が必要です。そのトイレに流す水を確保をするための新しい井戸も掘る必要も出てきています。

校舎の建設は、順調に進んでおります。6月末で、完成間近です。6月初旬の現地訪問で、落成式・開校式の予定と内容を相談してくる計画です。

太田さんの素晴らしいご支援に、心から感謝しております。



新しい校舎に取り付ける銘板（B4判）も  
デザインが決まりました

# 世川武尊さん支援のバン・ドン小学校 (建設状況報告)



K-1キックボクシングの世川武尊（タケル）君のご支援で建設することが決まったベトナム北部トゥエン・クアン省、ラム・ビン郡、ミン・クアン村のバン・ドン小学校。昨年10月16日に現地行政と契約を締結し、12月に着工式の予定でしたが、トゥエン・クアン省からの着工許可が届くのが遅れて、今年1月16日が着工式となりました。

タケル君は、1月28日に大きな試合があったため、着工式に参加はできませんでしたが、理事長・宍戸が参加しました。鍬入れ式では、スコップを土に刺すと同時に、目の前で花火が上がり、驚く場面もありました。タケル君は、その2週間後に大切な試合があることを話すと、子どもたちもメッセージを送りたいと、「フレイ、フレイ、タケル。ファイト、ファイト、タケル。」と笑顔でカー杯に叫ぶ子どもたちからの応援メッセージ動画も預かってきました。



右から、建設会社社長マイ・トゥエン氏、教育訓練局長コン・ヴァン・ヴィン氏、校長のグエン・ティ・フエ氏、左4人は、バン・ドン地区行政関係者



4月10日現在の状況（建設会社社長より入手）



5月8日現在の状況（建設会社社長より入手）

校地を少しでも有効に広く使うために現在ある老朽化した校舎のすぐ裏側に建設が始まり、1階部分の床下には、3メートルにも及ぶコンクリートで基礎が築かれています。3月末まで、古い校舎の解体許可が届くのが遅れ、5月末の段階で、2階建て校舎の1階部分の柱と壁までが完成した状態です。着工式でお目にかかった建設会社社長のマイ・トゥエン氏は、ベトナムの学校の新年度は9月なので、「新年度の始まる前の8月末の完成を目指しています。」と話しておりました。

念のため、開校式・落成式は、10月以降を考えて準備を整えております。6月中旬のトゥエン・クアン省、ラム・ビン郡訪問の際にも、工事の進捗状況の確認と開校式・落成式の日時や内容について、現地行政や建設会社と相談してくる予定です。

昨年からの国内での講演会や出前授業では、このタケル君支援のバン・ドン小学校の建設について紹介することも増えてきています。今年からは、1月31日、第一刷発行のタケル君の著書である「武尊 ユメノチカラ」にも触れさせていただきながら、P.150にある「苦しい時、つらい時、痛い時こそ前が出る。」という彼の言葉を講演時に紹介しております。

高校時代に、辛い経験を乗り越え、常に前に進もうと努力してきた彼の姿は、苦悩と逆境に立つ多くの青少年に大きな勇気と力を与えてくれるに違いないと考えています。



# 大型遊具(A)・(B)の寄贈と設置

## ダナン市、ホア・ヴァン郡を中心とする幼稚園へ

ベトナム中部のダナン市は、ハノイ・ホーチミンに続くベトナム第3の都市です。ダナン市の教育訓練局では、発達障がいをもつ幼児を普通学級で指導する統合教育に力を注ぎ、それが、すべての幼稚園の大きな課題ともなっています。

そのダナン市には、無人の離島を除けば、市全体の4分の3の広さを占めるホア・ヴァン郡と6つの区があります。そのホア・ヴァン郡には、19の幼稚園があり、約10,000人の園児が生活していますが、どの幼稚園も貧しい地域にあり、遊具の数が極端に少ないか、ほとんど無い状態です。

昨年から今年にかけての今回の取組みでは、日本寄附財団様からご支援をいただき、11の幼稚園に、アメリカの会社の中国工場からの輸入品で、硬質プラスチックと樹脂製の11の大型の遊具(A)と9つの少し小さめの遊具(B)の遊具を設置し、園児達が障がいをもつ子どもたちと仲良く一緒に遊べる環境を整えることができました。



大型遊具 (A)



大型遊具 (B)



大型遊具の支援に喜ぶ  
ハイジュオン幼稚園 (No.8) の園児たち

特に今回は、園児達の遊びによる事故防止も考慮し、回転や揺れを楽しみ遊ぶための遊具を避け、それぞれの部分の組み合わせ方により、どんな設置場所にも対応でき、設置方法の変化を楽しめる遊具を選定し設置しました。

一覧表のNo.12のスンカー幼稚園の遊具は、CSRスクエアの会員の皆様方からの会費や支援金で寄附させていただきました。受益者は、約3,400人の園児たちと約230人の熱心な先生方です。

### Da Nang市・遊具設置支援幼稚園一覧表 (2023/10~2024/4)

No.	郡/区名	幼稚園名	園長名	住所	園児数	障害を持つ園児数	設置遊具 (A)	設置遊具 (B)
1	ホア・ヴァン郡	ホアフー幼稚園、 ドンラム校	Nguyễn Thị Kim Thoa	Thôn Đông Lâm - xã Hòa Phú	237	0	1	
2		ホアクオン幼稚園、 フオンラム校	Đỗ Nữ Lâm Thanh	Thôn Hương Lam-xã Hoà Khương (Điểm chính)	324	5	1	1
3		ホアティエン幼稚園、 フーソン校		Thôn Phú Sơn 2-xã Hoà Khương (điểm lẻ)	258	3	1	1
4		ホアティエン幼稚園、 レソナム校	Chê Thị Tới	Thôn Lệ Sơn Nam - xã Hoà Tiến (điểm chính)	336	3	1	1
5		ホアリエン第1幼稚園、 クアンナム第2校	Trương Thị Phương	Thôn Quan Nam 2-xã Hòa Liên	379	4	1	1
6		ホアリエン第2幼稚園、 フオンフック校	Lê Thị Đệ	Thôn Hương Phước, xã Hoà Liên (điểm chính)	211	4	1	
7		ホアソン幼稚園、 アンガイティ校	Lê Thị Kim Vân	Thôn An Ngãi Tây 1, xã Hoà Sơn (điểm chính)	288	0	1	1
8	タイン・ケー区	ハイジュオン幼稚園、 428チャンカオヴァン校	Đàm Thị Hoàng	428 Trần Cao Vân- Xuân Hà- Thanh Khê- Đà Nẵng	244	3	1	1
9		マウドン幼稚園、 タインケータイ校	Huỳnh Thị Kim Hoàng	Tổ 39, phường Thanh Khê Tây, Thanh Khê, Đà Nẵng( Điểm chính)	269	2	1	1
10	ハイ・チャウ区	アンジュオン幼稚園	Nguyễn Trần Linh Chiếu	152 Trần Phú, P.Hải Châu 1, Quận Hải Châu ĐN	352	27	1	1
11	カム・レー区	サオマイ幼稚園	Phan Huyền Trân	Tổ 10, Phường Hoà Thọ Tây, Cẩm Lệ, Đà Nẵng (điểm chính)	287	1	1	1
12	リエン・チャウ区	スンカー幼稚園	Trương Thị Hải Vi	Số 1 - Thanh Vinh 7- Hòa Khánh Bắc - Liên chiểu - Đà Nẵng	185	1	1	
合計					3370	53	12	9

# 「命の水」を確保するために 大型揚水ポンプ(2台)の寄贈 (T.T.Hue省)

理事長・宍戸が6年前から年に何度か訪問してきたベトナム中部、トア・ティン・フエ省の西の端、ア・ルイ郡、ア・ロアン村。少数民族のコトゥ族・パコ族・タオイ族の人々など、約3,000人が暮らす貧しい集落群。数年前まで、田や畑の脇を流れる川の上流から用水路を作り、田畑の灌漑用水や、洗濯などの生活用水が、気候変動の影響もあってか、川の水位が下がり、村に水が無くなってしまっていました。

農業が中心の7つの集落では、特に3月から7月の乾季には、田の稲や畑の作物が枯れ、家畜の飼料を確保できず、牛やヤギが死んでしまい、仕事を探して、若者たちは出稼ぎに都会に出ていくなどの大きな問題を抱えておりました。

水は「命の源」です。何とかしてあげたいと、長い間考え続けておりました。

そのア・ロアン村に、昨年12月、理事長・宍戸の友人である福島県福島市の開業医院長の「鈴木定雄様」からの支援金で、1台150kgもある2台の大きな揚水ポンプを寄附することができました。1台は、最も広い水田のある集落に設置され、もう一台は、6つの村々で順番に、水を汲み上げ始めています。

今年1月の訪問で、その様子を視察し、動画を作成しました。Youtubeのチャンネル「シーエスアールスクエア」にアップされていますのでご覧いただければ、幸いです。



2024年1月の訪問時の写真、  
左から2人目が、協力者であるLe Van An教授



## 「ぼく、帰りたくない。もう一度、戻りたい！」 中学3年生51人、ベトナム奥地の中学校での交流



ラン・カン中学校の前での記念撮影

CSRスクエアを設立する前から数えると、9回も続いている神奈川県鎌倉学園のベトナム訪問・探究ツアー。これまで、そのほとんどのツアーを担当させていただいてきました。昨年は、8月末に、高校1年生9人を案内して実施できましたが、今年の3月には再び、今年度2度目、中学校3年生51人を案内して、これまでと同じようにベトナム北

部、トゥエン・クアン省、ラム・ビン郡のラン・カン中学校や幼稚園を訪問することができました。

今回の訪問(3/24~3/26)の特徴は、訪問した日本の中学生と、現地の中学校の生徒が、ペアを組み、二人で様々な活動に参加して、交流を深めること。1日目の交流の集いでは、それぞれの国や地域、学校の紹介だけでなく、それぞれが準備したパフォーマンスの披露。特に、鎌倉学園のパフォーマンスチームが披露してくれた「ベトナムサッカーチームの応援歌に合わせたダンス」は、現地の中学生にもなじみ深い曲とダンスだけに、それを、日本の中学生がその曲に合わせて同じダンスを踊る姿に、拍手喝采が起きていました。

午後は、バレーボールやサッカーなどのボール遊び、トランプやパズル、ペーパータワー作りの活動など、言葉の壁はあっても、ほぼ同い年の男女の仲間と一緒に交流を楽しむことができました。

案内側としてたいへんだったのは、日本からの訪問者75人の宿の準備と、現地の中学生51人と先生方22人、合計148人分の昼食を準備することでした。ホテルや大きなレストランが無い山奥です。苦労は大きかったですが、やり遂げた充実感も忘れがたいものとなりました。日本へ向かう帰り道には、生徒たちから「ぼく、帰りたくない。もう一度、ラム・ビンに戻りたい。」という嬉しい声も聞くことができました。

## 2023年度 出前授業・講演会の実績 (成人対象の増加傾向)

No.	月日	曜	時刻	学校名・団体名	学年	生徒数	教科等	参観者
1	5月11日	木	9:35	東京都、西東京市立住吉小学校	小6	69	講演会	5
2	5月11日	木	10:40	東京都、西東京市立住吉小学校	小5	62	講演会	8
3	5月12日	金	13:35	東京都、葛飾区立本田中学校	中1-3	345	講演会	20
4	5月25日	木	11:15	福島県、福島市立福島第三小学校	小3・4	111	講演会	18
5	5月26日	金	11:15	福島県、福島市立福島第三小学校	小5・6	80	講演会	12
6	6月6日	火	10:25	福島県、福島市立清水小学校	小5	83	講演会	7
7	6月8日	土	13:20	東京都立富士高等学校附属中学校	中3	160	講演会	8
8	6月14日	火	13:100	福島県公立学校退職校長会郡山大会			発表	290
9	6月30日	金	13:15	福島県立福島南高等学校国際文化科	高1	40	講演会	2
10	9月19日	火	13:30	東京都、町田市立南大谷小学校	小6	105	講演会	7
11	9月20日	水	19:00	千葉県、春日部地区経営革新塾しよう会			講演会	30
12	10月1日	日	9:00	福島県本宮市、高松山人間塾			講演会	30
13	10月21日	土	10:00	東京都、江戸川区立鹿骨東小学校	小6	70	講演会	6
14	10月21日	土	11:15	東京都、江戸川区立鹿骨東小学校道德地区公開講座			講演会	60
15	10月24日	火	13:15	千葉県、柏シルバー大学院39期			講演会	60
16	10月26日	木	10:00	福岡県、株式会社新興出版「啓林館」福岡支社講演会			講演会	9
17	11月4日	土	13:30	福島県、二本松市青少年健全育成推進大会			講演会	200
18	11月28日	火	13:30	福島県伊達郡、国見町立国見小学校	小6	36	講演会	10
19	12月1日	木	13:20	東京都、共立女子大学、 講話「ベトナム北部における教育支援活動」	大1・2	30	講話	2
20	2月8日	水	6:00	福島県、郡山中央倫理法人会			講演会	38
21	2月15日	木	10:30	東京都、江戸川区立鹿骨東小学校	小6	70	講演会	5
22	2月22日	木	13:15	福島県、いわき市立小名浜第一中学校	中2	160	講演会	8
23	2月26日	月	10:00	千葉県、柏シルバー大学院生涯課程C組			講演会	110
24	2月29日	木	9:30	福島県須賀川市、熊田学園			講演会	40
25	2月29日	木	14:00	福島県、福島市立北沢又小学校	小6	60	講演会	4
26	3月2日	土	15:00	千葉県鋸南町、太田邸・支援者会			講演会	6
27	3月7日	木	13:30	東京都、町田市立南大谷小学校	小6	105	講演会	6
28	3月8日	金	13:20	東京都、小平市立小平第二中学校	中3	180	講演会	10
29	3月9日	土	11:00	神奈川県、鎌倉学園中学校、 ベトナム研修事前説明会	中3	51	説明会	60

合計 1817

1071

コロナ禍を経て再開して2年目の出前授業や講演会。昨年度の特徴は、これまでの講演対象は児童生徒や学生が多かったのですが、昨年度から、シニアなど高齢者の方や、企業での講演会などが増え始めていることです。また、これまでで始めて、九州の福岡県で講演をさせていただく機会をいただきました。千葉県柏シルバー大学院での講演などは、今年度も、すでに2回ほどの予約が入ってきております。講演をお聞きいただいた方々の中から数人、支援者として会員にもなっていただき、ありがたいことであると感謝しております。



CSRスクエアのFacebookへのアクセスは、左のQRコードからどうぞ。お待ちしております

# 【ラジオ番組「お母さん教室～話の広場～」】

2月6日・13日・20日、ラジオ福島での放送

2017年9月にラジオ福島でスタートした理事長・宍戸の放送番組も、8年間で14シリーズ、計45回となりました。

今年2月のテーマは、「13年前のラオスと飯館村の『きずな』、そして、7年ぶりのラオス訪問」でした。第一話は、「13年前の出来事と、女子高校生からのメッセージ」と題して、ラオスを通じて運命的な出会い（女子高校生の言葉）をした高校生からのメッセージ。第二話は、「百年かかっても処理しきれないほどの、クラスター爆弾の不発弾でいっぱいラオス」と題して、ベトナム戦争で、なぜ、ラオスまでが爆弾投下の被害に遭ったのかを、歴史をひもときながら話させていただきました。第三話は、「第2次インドシナ戦争で、被害の最も大きかったシエンクアン県訪問」と題し、この会報の1ページ目にある学校を建設しているシエンクアン県を訪問し見てきた、現地の姿を話させていただいております。

それぞれ12分程度の録音で収録されております。ご希望の方には、CDまたは、音源ファイルをメール添付などでお送りも可能です。気軽に連絡を下さることを、お待ちしております。

仕事やメールなど、活字に疲れたときなど、電車の中、長距離運転時の車のナビや、自宅のCDプレイヤーやスマホなどで、音だけの世界を想像力を働かせて楽しんでいただければ幸いです。



## 2023年10月～2024年3月の正会員・法人会員、寄付者名（敬称略）

### ◆ 正会員 ◆

北海道 中西 重敏  
千葉県 香田 寛美  
同 染谷 登  
同 滝沢タカ子  
同 光安 輝雄  
同 山本 恵子  
東京都 比留川 学  
同 吉村 康佑  
同 匿名希望者  
神奈川県 金子 祐仁  
同 川原 淳  
同 鈴木 健吾  
愛知県 牧原 東吾  
福島県 片野 宗和  
同 柏 正二  
同 神岡 祥恵  
同 菅野八百子  
同 斎藤 精次  
同 斎藤 ミネ  
同 島田 荘  
同 鈴木キミ子  
同 鈴木 教弘  
同 吉川 哲也  
同 渡辺とし子  
(以上24人)

### ◆ 法人会員 ◆

福島県 ハヤシ製作所

### ◆ 賛助会員 ◆

神奈川県 国分 智樹  
同 竹内 楓真  
同 前田 航佑  
同 持田 悠翔

### ◆ 法人賛助会員 ◆

東京都 ライフ  
・エコロジー



ラオス・シエンクアン県で出会ったモン族の親子

### ◆ 寄付者 ◆

北海道 山本 禎  
栃木県 柳 文男  
千葉県 柏シバール大学院  
39期有志4名  
同 滝沢タカ子  
同 藤原 勝子  
同 山田 弘  
東京都 吾妻 隆一  
同 岩松 廣行  
同 石原佳代子  
同 江戸川区立  
鹿骨東小学校  
同 株式会社STR  
同 太田 勝己  
同 太田 照子  
同 置鮎早智枝  
同 日本寄附財団  
同 長谷川由貴  
同 平沼 京子  
同 町田市立  
南大谷小学校  
同 真鍋 秀則  
同 吉野 佑  
同 吉永 賢一  
同 レ ゴック  
バオ ヴィ

東京都 渡邊 直子  
神奈川県 金子 祐仁  
愛知県 牧原 東吾  
島根県 妹尾 由香  
福島県 内田 安子  
同 小平 一夫  
同 菅野 元一  
同 菅野八百子  
同 鈴木 定雄  
同 鈴木 教弘  
同 ハヤシ製作所  
同 古内 利勝  
同 渡辺とし子  
同 匿名希望3名  
Viet Nam Behling Mia  
同 Minh Hai Nguyen  
居所不明 Pham Thanh Hoa  
同 ホアン タオ リン  
同 ルー マイ リン  
同 グエン ティ  
ホン フーン  
(以上47人)



認定NPO法人 シーエスアールスクエア（CSR<sup>2</sup>）（輝く学校広場）  
Challenge for School Revival & Corporate Social Responsibility

〒960-8136 福島県福島市八島町6-29 TEL 090-2604-4226 FAX 024-533-2612

(ホームページ) <https://csr2.or.jp/> (facebook) <https://www.facebook.com/Kagayakugakkou>

E-mail: [shishido.csr2@gmail.com](mailto:shishido.csr2@gmail.com)

